

中央教育審議会大学分科会質保証システム部会について（令和2年7月～）

【検討の背景】

- 18歳人口の減少、産業構造の変化など、我が国の社会・経済環境が大きく変化していく中で、大学教育に対する期待は高まっており、**大学が特色を發揮し、その変化に対応して大学教育を向上していくことが必要**である。
- 「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン（答申）」（平成30年11月26日中央教育審議会）では、高等教育の**学修者本位の教育への転換の必要性**が指摘されるとともに、その**教育の質保証の在り方を見直す必要**があるとされている。また、今般の新型コロナウイルス感染症の影響を受け、大学教育は抜本的な変化が求められ、**新たな在り方に向けた大きな転換期**を迎えている。
- 本部会では、大学の将来像を見据え、平成15年度以降、国の事前規制から大学セクターによる事後チェックへと大きく転換した**現行の質保証の仕組みの検証**を行うとともに、**時代に即した質保証の在り方や大学設置基準の抜本的な見直し**などについて審議を行う。

検討の視点

- Society5.0やニューノーマルなど将来を見据えた大学像
- 大学に対する社会の信頼を確保するための**最低限の質保証**
- グローバルな社会における我が国の**大学の国際通用性**
- 実効的かつ効率的な**質保証の仕組みの在り方**

論点

- ✓ 質保証システム全体を通じた考え方、「質が保証されている大学」について
- ✓ 大学設置基準・設置認可審査の在り方について
- ✓ 認証評価制度の見直しと大学における内部質保証について
- ✓ 情報公開の在り方について
- ✓ 大学等の質保証に資する定員管理の在り方について
- ✓ 質保証を支える人材の育成について
- ✓ オンライン教育や授業内容・授業方法の進展に伴う質保証の在り方について
- ✓ その他、質保証システムの見直しに資する重要な論点について

質保証システム部会委員一覧

（令和2年10月1日現在）

- | | |
|---------|------------------------------|
| ◎ 吉岡 知哉 | 独立行政法人日本学生支援機構理事長 |
| ○ 日比谷潤子 | 学校法人聖心女子学院常務理事、前国際基督教大学長 |
| 永田 恭介 | 筑波大学長 |
| 浅田 尚紀 | 奈良県立大学長 |
| 飯吉 透 | 京都大学高等教育研究開発推進センター長・教授 |
| 杉谷祐美子 | 青山学院大学教育人間科学部教授 |
| 瀧澤美奈子 | 科学ジャーナリスト |
| 谷本 和子 | 関西外国語大学短期大学部副学長 |
| 土屋恵一郎 | 元明治大学学長、千葉工業大学特任教授 |
| 長谷川知子 | 一般社団法人日本経済団体連合会常務理事・SDGs 本部長 |
| 濱中 淳子 | 早稲田大学教育・総合科学学術院教授 |
| 古沢由紀子 | 読売新聞東京本社編集委員 |
| 宮内 孝久 | 神田外語大学長 |
| 大森 昭生 | 共愛学園前橋国際大学長 |
| 小林 浩 | リクルート進学総研所長・カレッジマネジメント編集長 |
| 林 隆之 | 政策研究大学院大学教授 |
| 前田 早苗 | 千葉大学国際教養学部教授 |
| 吉見 俊哉 | 東京大学大学院情報学環教授 |
- ◎：部会長、○：副部会長

（現在の状況）

- ・関係団体等からのヒアリングを実施するとともに、質保証システムの全体像の中で、質を保証するための基準や観点、仕組み等について審議中。